

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年4月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4674000130
法人名	医療法人 杏政会
事業所名	グループホーム つる
所在地	鹿児島県薩摩郡さつま町鶴田2691番地1 (電話) 0996-55-9988
自己評価作成日	平成31年3月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年3月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者もご家族も健康で長生きをめざしておられ、職員も元気で長生きをしていただくために、特に、健康管理には、力を入れている。また、明るく楽しく一日を過ごしていただけるように、笑いの絶えないホームをめざしている。4月より、調理の取り組みを始め、今では、役割分担ができ、毎日の日課になっている、上手に包丁を使われ、下ごしらえは、全部して下さる、ご家族の方も、参加されて、何十年振りに、母の料理を食べましたと感動されている姿もあり、大変だけど、やりがいも出てきている。法人により、年間を通して、介護の研修会を受ける機会をいただいた、根拠を勉強することができ、安心して、介護にあたることができるようになった。ご利用者も、職員間も家族も仲がいい、アットホームなつるです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は1ユニットのホームである。入居者はできることを積極的に取り組み、食事の支度で野菜の皮剥きやきざみ等を行い、個々の機能に合わせ、楽しく暮らしている。
- ・年2回の家族会や花見・敬老会等で家族との交流を図っている。外出支援や受診等、家族の協力が有り信頼関係ができています。
- ・食事は法人の管理栄養士の献立に沿って栄養のバランスのとれた献立になっている。食事には特に力を入れて、水分の量も配慮されている。
- ・管理者は認知症サポーターとして、住民に情報を提供したり認知症の相談を受けている。
- ・職員は法人の研修会や外部研修・ホーム内研修等、権利擁護の勉強会等に参加し自己研鑽に努めている。職員間のコミュニケーションも良好で、介護サービスに反映している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	明るく楽しくを日々の目標として、利用者職員協力しながら、生活している。	理念をホールに掲げミーティングで唱和し意識付けをしている。職員会議で理念を振り返り、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームの行事には、ボランティアの方が参加していただいたり、隣のお菓子屋さんより、差し入れがあったり、季節の野菜が、届いたりしている。	ホーム行事の敬老会には、ボランティアの踊りやハーモニカの演奏で楽しんでいる。地域の行事を見物に行き地域の人と話したりふれあいがある。夏休みには保育園児や学童の歌や踊りの交流がある。隣の菓子店から菓子や地域から野菜の差し入れがある。日常的に地域と交流をしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	職員が町のsosネットワークにメンバー登録しており、見守り等の援助を行っている。ホームに相談に来られた、方に情報提供を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>行政や民生委員や家族も代表者も出席しておられるので、現状の問題点を相談でき、その場で、結論が出るので、安心につながっている。</p>	<p>2ヶ月毎に会議を開催している。行事報告や入居者の状況・ヒヤリハット・事故報告等を行い、行政からの情報やアドバイスをもらい意見交換している。センサーマットの購入等、意見はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>身寄りのおられないご利用者がおられ、包括センターで、ケア会議を開いていただいたり、加算についての書類や請求についての疑問点など担当の方に教えていただいている。</p>	<p>市の担当者とは、窓口に出向いて相談している。地域包括支援センターとも密に連携をとり、協力を得ている。外部研修や市主催の研修会には積極的に出席している。運営推進会議に参加してもらい身近にアドバイスを受けている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の弊害を理解しており勉強会を実施したり、振り返る機会として、会議を通して考える機会がある。ケア会議を通して、問題点は、解決できるようにしている。</p>	<p>委員会で身体拘束について年4回研修を開催している。拘束の弊害について言葉の拘束も含め具体的に事例を出して学習している。日中は玄関の施錠はしていない。外出したい時は職員がさりげなく寄り添い散歩に切り替えて落ち着くまで対応し拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	今年度は、セルフネグレクトの研修を行った。日々の業務の中で、言葉づかい等も注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	人権を守る為に、権利擁護の勉強会を実施した、また、成年後見制度を利用されている方もご利用者におられる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	改定の際は、その都度説明会等を開いている。また、新規入所者には、自己決定ができるようにしている。料金説明・状態悪化時・ホームからの退所の指針等時間をかけて説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年2回の家族会を実施しており意見や要望を聞く機会を持っている。また、日々の問題点は、面会時や電話等での対応を行っている。	利用者からは、昼食後にテラスやリビングで、またお茶の時間や夜勤の時に声かけして話を聞いている。食べ物の要望が多い。家族からは、家族会や敬老会・花見等の時に意見や要望を聞いている。出された意見は運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>母体の施設に、運営会議があり、毎月、問題点や運営に関する話を話し合う機会があり、職員の意見を反映できる仕組みがある。</p>	<p>ミーティングや職員会議等で意見が出しやすいように配慮している。職員間で勤務交代などをスムーズに行っている。日常的に管理者に相談している。母体施設で毎月1回運営会議の時、意見や提案を話す機会があり、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>H29年に改修され、働きやすい職場になっている。職員の入れ替わりも少なく、和気あいあいと仕事ができる職場である。代表者も定期的に職場を訪れ、各自の意見を聞く機会がある。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>今年度は、法人の介護の統一を図る為に、根拠に基づいた介護基本マニュアルを年間を通して、研修を受けた。その他、月1回の勉強会、外部研修と受講する機会があった。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内の事業所とは、サロンや研修会を通して、交流機会があり、情報交換を行ったり、相談をする機会がある。他事業所の防災訓練の見学にも出かけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に、出来るだけ多くの情報をご家族、担当ケアマネ等より頂いている。また、入所前にご本人と面接する機会を作り、ご本人の要望、ご家族の思いを知ること努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約前後に、話を聞く機会を設けている、また、入所後間もないときは、安心していただけるように、ホームでの様子をまめにお伝えしている。同時に、ホームの方にも足を運んでいただけるようお願いしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	情報に基づき、介護計画に沿った、サービスを提供できるようにしている。ご本人が、ご本人の意思決定ができるように、努めている。安心安全に暮らせるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、家族のつもりで、共に生活をするものとして、接している。出来ることを手伝っていただいたり、おたがいさまの気持ちで和気あいあいと暮らしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日頃から関係作りに努めており、お願いしたり、お願いされたりの関係であり、皆さん協力的であるり、日常的に交流もある。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームに移り住むと人や環境が変わってしまわれるが、ご本人にとって、家と家族は、特別なものであるため、不穏時などは、外出や面会等お願いしている。	知人や友人の面会が多い。馴染みの店にぬり絵や食べ物を買に行ったり、電話の取次ぎやハガキの支援をしている。家族の協力を得ながら、墓参りや馴染みの店で買い物をしたり外食したりして、馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士で、テラスで、お話をしたり、面倒を見てくださったり、する姿が、日常的にある。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	以前入居されていた家族が、差し入れを持ってきてくださったり、親戚の方にホームを紹介してくださったりすることがある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で、希望や意向の把握に努めている。また、家族にも昔の情報を得て、職員で話し合い、利用者本位の支援ができるようにしている。自己主体・自己決定を尊重している。	日常の関わりの中で声かけして、その人らしい部分を会話や生活歴などから把握する取り組みをしている。コミュニケーションが取りにくい利用者とは言葉かけした時の反応やしぐさから思いを把握したり、家族からの意向を大切に利用者中心の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人を取り巻く、多くの方に出るだけの情報を得られるようにしている。生活の中より得られる情報も大切にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活を共にしながら、ご本人の今までされてきた事の継続と出来なくなったことの把握を行い、援助を行っている。ホームには、女性が多いので、調理の継続に特に力を入れている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・家族・主治医・リハビリ職員を交えて、担当者会議を行いご本人に必要な、計画を立てている。	本人や家族の意見や意向を把握し、担当者会議を開き主治医の意見を入れて、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施、見直しは6ヶ月で行っている。状況に変化があった時はその都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のミーティングの中で、話し合いを行い、業務の改善に生かしている。自分たちで解決できないときは、家族や関係者の協力をもらうようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	難しい事であるが、母体施設の協力や関係機関の協力を得て、相談や解決につなげる仕組みができていく。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ホームで出来ない事は、相談して、多くの力を借りることにしている。一番身近な家族が一番で民生委員を通じて、地域の方や近隣の方、有料サービスやボランティアと少しずつ繋がってきている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に、ご本人の希望に沿って、家族の対応をお願いしている。受診時には、ホームより情報を提供して、医療機関と連携している。夜間の歯科診療も対応していただいている。	かかりつけ医は本人・家族の希望する医療機関であり、家族が対応している。月2回、協力医療機関の訪問診療がある。歯科は訪問診療である。夜間は24時間体制で電話で対応している。家族が同行の時は症状を文書で示している。緊急時は職員が付き添って、家族へ必ず報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>体調悪化時、急変時等、事前に取り決めがあり、救急病院へつながる仕組みが出来ており、家族や本人の安心につながっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時の情報提供や、入院中の状態確認や、面会を行い、病院ソーシャルワーカーとの情報共有にて、連携をとっている。早期退院にもつながっている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度看取りは行っていない。入所時や家族会の時に、繰り返し説明を行っている。退所の判断は、主治医の判断であることをお伝えしている。また、ホームより、状態報告等、まめに行っている。入所時にご本人や家族について主治医より重度になったときの延命治療の有無等取り決めがある。</p>	<p>重度化や終末期の指針があり、説明をしている。食事摂取ができる限界までケアを行い、主治医と家族とで話合っている。重度化になった時は、主治医の判断で転医、延命については延命治療の有無についての連携シートができています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修があり、学ぶ機会がある。また、マニュアルがあり、定期的に確認している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の昼夜想定防災訓練を消防署立ち会いで行っている。また、防災災害マニュアルの作成を行い、緊急時の避難場所までの避難訓練を家族と行っている。災害時は、伝言ダイヤルで、情報を伝達することもお伝えしている。ALSOkの協力態勢もできている。</p>	<p>マニュアルを基に年2回昼夜間想定で消防署の指導を得て防災訓練を実施している。自主訓練も行っている。防災無線があり、地域に放送が流れるようになっている。避難所として裏の駐車場や中央公民館がある。災害時の水・米・カップ麺・インスタント食品・缶詰等を備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	根拠のある介護マニュアル研修の中で、人格の尊重や自己決定や尊厳について学ぶ機会があった。言葉使いは、その都度注意を行う事になっている、距離が近くなることと、尊厳を履き違えないように業務にあたっている。	尊厳とプライバシーを大切にマニュアルを基に研修会で繰り返し事例を出して確認している。接遇の勉強会では言葉遣いに注意し、丁寧なやさしい言葉かけで、トイレ介助・名前の呼び方・職員間の会話時は利用者の近くで話さない等、気配りし、対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何でも話せて、言いあえる関係作りに努めている。本人が、自己決定出来るように、解りやすい言葉で問いかけます。身体に危険や不利益が及ばない限り個人の意思を尊重しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかなタイムスケジュールはあるが、ご本人にあわせた方が、楽である。決まり事に合わせようとすると難しい。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類選びも基本的には、自分でいただいている。出来ないときには、選択式で選んでもいただいている。褒めると笑顔が出る。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームが一番力を入れている部分で、調理が、毎日の日課になっている。出来ることをできるだけ毎日行っていただいております。時には、失敗もあるが、楽しんで参加されている。	法人の栄養士の助言を得て献立を作成している。行事食や花見・誕生会には好きな物を提供する等、食事が楽しみなものになるよう配慮している。利用者がじゃが芋やキュウリの皮むきや大根おろし等を一緒にしている。おやつのおはぎや団子等も作っている。外食に出かけたりして食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人の栄養士の献立に沿って栄養バランスの取れた、献立になっている。また、水分制限のない方は、水分量1500mlは、摂取していただいている。食事と水分量については、厳しい。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月1回以上歯科衛生士が来訪し、歯磨き指導等行ったださっている。日に3回、全員の日課。感染症にかかることがなくなった。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人にあった、排泄介助を行っている。認知症状が進み確認指示を必要とする方が増えてきている。	排泄チェック表を活用して、個々のパターンを把握し時間をみてトイレ誘導している。しぐさ等から察知して周りに気づかれない様にトイレへ誘導している。オムツ使用から改善された事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事・運動・水分摂取に気をつけている。排便チェック表にて内服調整も行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は、基本的に週2～3回以上行っている。入浴が嫌いな方が1名おられる。体調や、排便状態により、シャワー浴や清拭等柔軟に対応している。	入浴は週に2～3回以上午前中に支援している。清拭・足浴・シャワー浴等、個々に応じて行っている。脱衣所にはエアコンの設備も有り温度差がないように調整している。柚子湯や菖蒲湯で楽しむこともある。入浴を拒む利用者には職員や時間を変えたり言葉かけを工夫したりして無理強いしないように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	認知状態により、昼夜逆転があつたりしている。一晩中つきあう事もある。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋などで、全員が、共有できている。状態変化時は、早めの対応がとれるように、主治医や薬剤師に相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>人それぞれに役割があり、掃除・調理・箱作り・お世話係をされている方もおられる。行事・レク・畑作り等楽しみにされている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>家族との外出や外泊・墓参り・受診を利用して食事に行かれたり、公民館に歌と踊りを見に行ったり、買い物に行ったり、お元気な方は、外出の頻度は、多いが、全員で出かけるのは、花見ぐらいである。</p>	<p>日常的には、戸外の散歩や外気浴をしている。花見には全員で外出している。隣の菓子店へ買い物に行くこともある。家族の協力を得て公民館へ歌や踊りの見物や外食・買い物等に出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>近くの商店に買い物に行かれたり、ケーキ屋さんにおやつを買いに行かれたりされている。ご本人希望品を職員がそろえたりすることもある。おやつを買いに行くと沢山、選ばれる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に沿って、支援を行っている。また、ホームより不穏時に電話で、家族と会話を持っていただくこともある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、温度・湿度・換気採光に配慮した作りになっている。リビングには、季節感がある花を飾り、季節行事の飾りつけを行い、意識的に会話が生まれるように気をつけている。	リビングは空調管理が良く、室温・換気・採光に配慮があり、明るい。台所からはホールが一望できて圧迫感がなく、調理の匂いや職員との会話もできて家庭的である。季節の花が飾ってあり、テレビの前にソファが置かれゆっくりくつろげるようになっている。ウッドデッキから花壇や外の景色が見え、季節を楽しむことができ、居心地よい空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングに集まってこられ、思い思いに会話を楽しんだり、テラスの方に行かれたり、自由に生活されている。職員も環境の一員であると自覚しており、安心できる声掛けを行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋の中は、プライベート空間なので、位牌やアルバムなどの家族の思いでが詰まったものが、持ち込まれており、安心して生活ができるようにしている	自宅で馴染んだ物が持ち込まれ個性的である。家族写真や位牌・時計・暦・小物等が置かれ、家族と職員がサポートして居心地よい居室づくりをしている。プライバシーも守られゆっくりくつろげる部屋である。季節の衣替えも本人や家族で話し合い行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>目で見えて解るような掲示を行ったり、本人に分かりやすいように目印をつけたりしている。また、解らない事出来ない事で不安にならないように、職員がサポートを行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない